

アート・アスレチック教育 ニュースレター



東京学芸大学アート・アスレチック教育センター
CAAAE Center for Applied Arts and Athletics Education

Topics ▶▶▶ 主催・協賛事業報告 / CAAAE教員日記 / 今後の予定

ニュースレターVol.10では、6月から8月にかけて実施した事業についての報告およびCAAAE教員日記を紹介します。

FD研修 | XRで広がる学びの世界：学校現場での実践と課題〈主催〉

講師：鈴木直樹 准教授 協力：シャープ株式会社、株式会社ニコン、株式会社アルファコード

6月27日（水）に本センター主催でFD研修を実施しました。

健康・スポーツ科学講座の鈴木直樹准教授に講師としてご登壇いただき、XR（VR・AR・MR）をよる学びの可能性や課題についての理解を深めました。講義内容は、メタバースについて、XRを活用した授業の意義、実践事例紹介の3本立てで行われ、その後は3社の協力企業と本学で開発したコンテンツ体験会が1時間ほど行われました。「メタバース」という漠然とした用語の定義から、最近のXRを活用した授業の可能性と課題まで、集まった人で共有しあい、体験会でさらに理解を深めていく有意義な研修会となりました。



コラム CAAAE 教員日記

花家 彩子（芸術・スポーツ科学系 演劇分野 准教授）

キャンプでしりとり、軽井沢で花火

この夏、姪（6歳）とキャンプに行った。姪は初めて肉眼で天の川を見て、トイレにいた蜘蛛が怖いと泣き叫んだ。さぞ豊かな体験をしたことだろう。「キャンプ楽しかったね」「うん、しりとりした」。

なんだって。君の両親がこのキャンプのためにどれだけ大変な思いをしたと思っているんだ。それで楽しかったことが「車の中でしりとりをしたこと」だと宣うのか?!

数か月前、従姉妹が軽井沢で結婚式を挙げた。理由を尋ねると「子どもの頃、親戚みんなで軽井沢に行ったのが楽しかったから」だそうだ。別に贅沢な観光をしたわけではない。ただ、そこで夜に子ども達で手持ち花火をしたことが、彼女の「大切な記憶」なのだそうだ。

仕事柄、子ども向けの演劇は積極的に見るようにしている。しかし、客席が本当に子どもで埋まっていることは稀だ。観劇は移動のハードルも高く、チケット代も安くはない。やっとの思いで連れて行っても、姪は最前列で「なかなか面白くないねえ!」と叫んでいた（それなりの演目を選んだつもりだったのに…泣）。一方で、従姉妹にとっての軽井沢の花火は、まったく軽井沢らしくないが、人生にとって重要な経験となった。

重要なのは「体験が経験になる」ことなのだと思う。体験は、語り直され、意味づけられたときに、初めて自分を形づくる経験となる。そういう経験が、なるべくポジティブに、豊かに積み重なっていくことは確かに望ましい。しかし、体験が経験に昇華するタイミングとはいつなのかは予想がつかないし、一度ネガティブなものとして経験化されたことが、のちにポジティブな物語に書き換えられることもある。

……となると、ただ「豊かな」体験をさせればいい、というものでもないらしい。さて、次は姪と何をして遊ぼうか。



共催・協賛事業報告

キラキラだけじゃない。泥臭い先輩たちの、リアルな大学生活、のぞき見。〈協賛〉



7月26日に開催された大学のオープンキャンパスにて、保健体育A・B類/生涯スポーツE類ワークショップとして運動部活動相談会と各スポーツ系団体の練習の見学会を実施しました。部活動相談会では、先輩達がどんな大学生活を送っているのか、学業との両立のためにどんな工夫や苦労があるのかなどを在学学生が高校生とその保護者と直接話をする場とし、130名の来場がありました。練習見学会では、猛暑の中、当日に学内で活動のあった16団体の活動を240名の方々に観ていただきました。大学の部活動は、顧問教諭が管理・運営を担う高校のそれとは異なり、学生が主体となって活動しているところがほとんどです。その活発さややりがい高校生に直接発信することができた貴重な機会となりました。

子育て支援アートワークショップ 〈協賛〉

「でこぼこ みーつけた!」「まほう入門レッスン まほうのポーションづくり～色水にねがいをこめて～」

7月20日に美術・工芸教育SP1年生が中心となり、地域の子どもたちを対象としたアートワークショップを実施しました。今回のワークショップのテーマは「子どもたちに『みる力』を育む」です。「でこぼこみーつけた!」では紙粘土で身近にあるでこぼこを写しとり、お気に入りのでこぼこを選んで額に並べ、着色もしました。「まほう入門レッスン」では魔法使いに弟子入りしたつもりで、水彩絵の具を使った色水とラメ

やビーズを瓶にとじこめ、お気に入りの「まほうのポーション」をつくりました。保護者のみなさんも一緒に活動いただき、お互いの作品を紹介し合うなど、楽しいアートワークショップになりました。

何度も試しながら素敵な色のポーションをつくっています



お気に入りの「でこぼこ」どのように並べようか考え中



福建芸術教育協会 音楽教育研修会2025 〈協賛〉

中国から音楽教員と学生8名が8月8日より来日し、国立オリンピック記念青少年総合センターと本学において音楽教育に関する研修会を実施しました。CAAAEはこの研修会を協賛し、中地雅之先生（センター長）が日本の音楽教育の概説と器楽・即興の演習を、石川裕司先生（兼任教員）が音楽と理科のSTEAM教育の実践例の紹介と箏の演習を、塩原麻里先生（共同研究員）がリトミックの演習を行いました。また、「さくらさくら」を日本のお箏で演習した後に、参加者が中国の古箏の演奏を披露するなどの交流も行われました。田中正雄先生（本学非常勤講師）の合唱講座や卒業生が指導する高校での音楽部活動の見学など、日本の合唱教育にも大きな関心が寄せられ、充実した3日間の研修をサポートしました。



器楽アンサンブルと即興の演習（中地先生）



箏による「さくらさくら」の演習（石川先生）

今後の予定

小金井市立はけの森美術館 学芸員の中村ひの先生監修による「モダニズムでつながる」特別本棚を2025年8月25日13時～9月25日正午まで（8/27、9/24：図書館休館日）設置いたします。当該本棚の書籍とつなげて小金井市立はけの森美術館の展示「中村研一とモダニズム」もお楽しみください。（場所：東京学芸大学附属図書館1階ロビー本棚）



特別本棚の設置

モダニズムで つながる

中村研一と
モダニズム

第一期

モダニズム、出会いと展開

2025
7/30
水
≧
9/28
日



特別本棚の設置について

はけの森美術館 学芸員の中村ひの先生監修による特別本棚を設置いたします。当該本棚の書籍とつなげて小金井市立はけの森美術館の展示もお楽しみください。

場所：東京学芸大学附属図書館1階ロビー本棚

期間：2025年8月25日13:00から 9月25日12:00まで

ただし8/27、9/24は図書館休館日

時間：平日 8:30-17:00、土日祝日 11:00-18:00



プロジェクト代表：鉄矢悦朗 tetsu@u-gakugei.ac.jp

中村研一記念
はけの森

〒184-0012 東京都小金井市
TEL: 042-384-9800
www.hakenomori-art-museum.jp
アクセス：JR中央線武蔵小金井駅から徒歩約15分